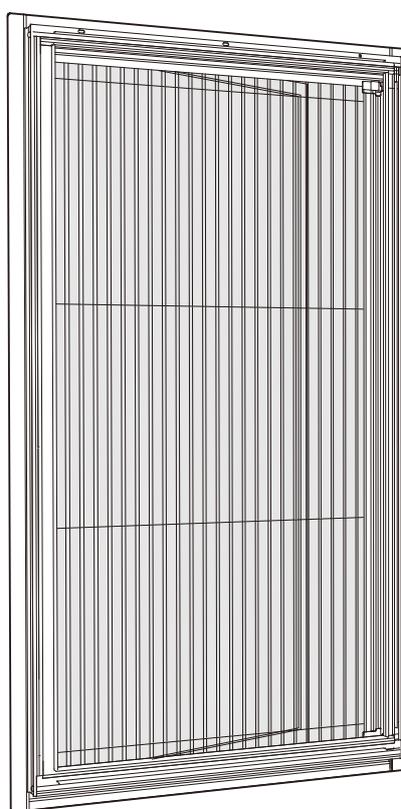


サーモスX 可動式網戸

取扱い説明書



ご使用にあたって

- この説明書では、お施主さまが商品を安全に正しくご使用いただくための取扱い方法やお手入れ方法などの重要な内容を記載しております。ご留意いただくとともに、大切に保管してください。

重要なお知らせ

ご使用の前に

- 安全のために、必ずお守りください。
「可動式網戸」のご使用およびお手入れを行う場合は、必ずこの取扱い説明書にしたがってください。
なお、この取扱い説明書にしたがわず、乱用又は誤用によって、ケガおよび損害が発生した場合は、当社およびその販売会社に責任はないものといたします。

- 1.この取扱い説明書の記載事項の他にも、あらゆる危険が想定されます。したがって、「可動式網戸」のご使用およびお手入れの際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
- 2.この取扱い説明書は著作権を有し、その権利は留保されています。
- 3.商品のお問い合わせについては、下記の窓口までご連絡ください。

| 問い合わせ内容 | 連絡先窓口 | TEL |
|---------|---------------|----------------|
| 商品全般 | お客さま相談センター | ☎ 0120-126-001 |
| 修理のご依頼 | LIXIL修理受付センター | ☎ 0120-413-433 |

警告用語の種類と意味

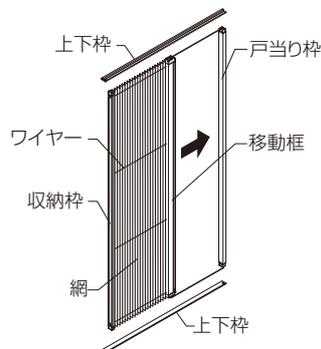
※この章では、「可動式網戸」を使用する場合に守るべき安全事項を説明しています。

- この取扱い説明書では、危険度の高さ(又は事故の大きさ)にしたがって、次の2段階に分類しています。以下の警告用語が持つ意味をよく理解し、本書の内容(指示)にしたがってください。

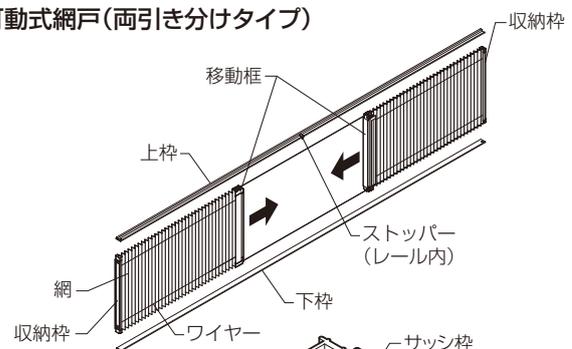
| 警告用語 | 意味 |
|---|---|
|  注意 | 取扱いを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。 |
| お願い | 特に注意を促したり強調したい情報で、指示にしたがわないと機器の損傷・故障などにつながる場合があります。 |

各部の名称と操作方法

●可動式網戸(片引きタイプ)

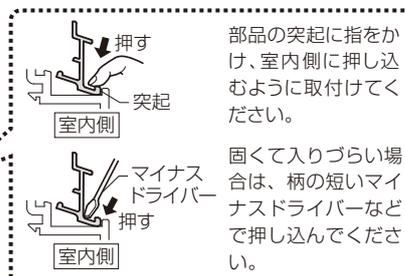
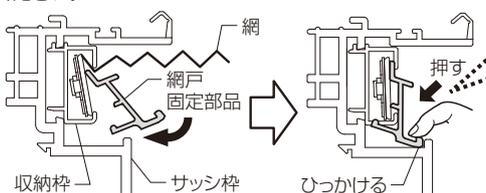


●可動式網戸(両引き分けタイプ)

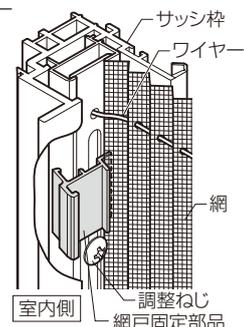


■網戸固定部品の取付け方法

ご使用の際に網戸固定部品を外す必要はありません。万が一調整などで外した場合は、以下を参照して取付けてください。



部品の突起に指をかけた後、室内側に押し込むように取付けてください。
固くて入りづらい場合は、柄の短いマイナスドライバーなどで押し込んでください。



網戸固定部品は調整ねじの上に取付けし、ワイヤーと干渉しないようにしてください。

特に注意していただきたいこと (安全のため必ずお守りください)

⚠ 注意

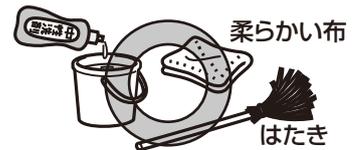
- 網戸にはもたれかからないでください。落下や故障の原因になるおそれがあります。
- 砂埃がたち、紙片が舞い上がる、または小枝が動くような風 (風速6.5m/s程度) が吹いているとき、突風が予想されるときは網戸を使用しないでください。風の圧力がかかり、網やワイヤーの破損または網戸が落下するおそれがあります。

お手入れ方法

1

網のふき方

網をはさみ込み、両側から同時にふいてください。通常の汚れは、水ぶきで十分ですが、汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めて使用し、その後、洗剤が残らないようにふき取ってください。



2

レール枠の清掃方法

掃除機で砂やほこりを吸い取り、水ぶきをしてください。特に汚れがひどい場合は、歯ブラシなどで汚れを落としてください。汚れを放置しておくとも開閉できなくなります。



お願い

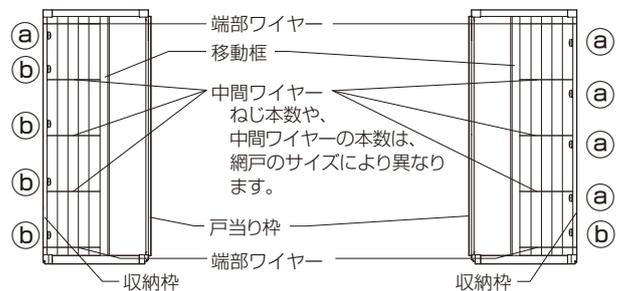
- シンナー・ベンジンなどの有機溶剤や漂白剤は絶対に使用しないでください。色あせ・変色の原因となります。
- タワシなどの硬い物でこすらないでください。網のほつれや劣化の原因となります。



建付け調整について

- 下記「**ワイヤーの確認方法**」を参照してワイヤーの張り具合を確認します。ワイヤーの張り具合が適切でない場合、調整ねじを上下方向に移動させてワイヤーの張り具合を調整します。
- ※ 全てのワイヤーが同じ張り具合になるように調整をしてください。
- ※ 不具合の内容により、移動するねじが異なります。
- ※ ねじをゆるめすぎないようにしてください。(2回転以下)ゆるめすぎると、ねじ・調整裏板の落下・紛失につながります。

■調整方法の表を参照してください。

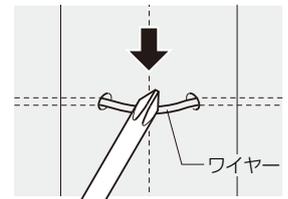


■調整方法 ※調整は網戸を使用状態にして行ってください。

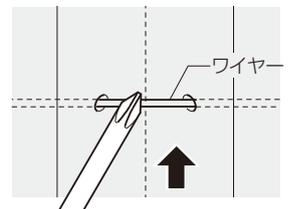
| | 開閉が重い | 収納時上側が開く | 移動枠にソリが発生 |
|-------|---|---|---|
| 不具合現象 | | | |
| 調整方法 | ●ワイヤーの張りが強いので、ねじをゆるめてワイヤーの張りを弱くする方向に移動させます。 | ●ワイヤーの張りが弱いので、ねじをゆるめてワイヤーの張りを強くする方向に移動させます。 | ●中央部のワイヤーの張りが強いので、ねじをゆるめてワイヤーの張りを弱くする方向に移動させます。 |
| 不具合現象 | 上枠からワイヤーが垂れ下がる 中間ワイヤーがたるむ | <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>■aのワイヤー</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>■bのワイヤー</p> </div> </div> <p>※収納の左右勝手によって、中間ワイヤーの調整方向が変わります。</p> | |
| 調整方法 | ●ワイヤーの張りが弱いので、ねじをゆるめてワイヤーの張りを強くする方向に移動させます。 | | |

■ワイヤーの確認方法

- ① ドライバーをワイヤーに軽くのせます。
※ワイヤーがたわまない場合は張りすぎです。



- ② ドライバーをワイヤーから離します。
※ワイヤーが元に戻らない場合はゆるみすぎです。



商品保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中、商品に故障、損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにご相談ください。

- 対象商品 サッシ・ドア商品
- 保証期間 施工者よりの引き渡し日(注1・注2)から2年間(電装部品については1年間)
注1)改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。
注2)分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡し日とします。
※ただし、「住宅の品質確保の促進等に関する法律」第2条第1項及び第2項に規定する「新築住宅」に取付けられた商品(同法第94条第1項に定める「雨水の浸入を防止する部分」として同法施行令第5条第2項に該当する部分に限る)からの雨水浸入については10年間とします。
- 保証内容 取扱説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合を除き無料修理いたします。
なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまるありますが、これは商品上の特性であり不具合ではありません。
不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。
- 免責事項 保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。
 - ① 当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合
(例えば、海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良に起因する変色や腐食など)
 - ② お客様の指図による、正規仕様でない特別な仕様にて製作した部分に起因する不具合
(例えば、サッシ・ドアの防犯性能、使い勝手、操作性の低下など)
 - ③ 表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合
 - ④ 建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
 - ⑤ 商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩耗など)や経年劣化(樹脂部品の変質、変色など)又はこれらに伴うさび、かびなどその他類似の不具合
 - ⑥ 商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食又はその他の不具合
(例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。ガラスの熱割れ。強化ガラスの自然破損。異常な高温・低温・多湿による不具合など)
 - ⑦ 商品又は部品の材料特性に伴う現象
(例えば木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、ふし抜け、樹液のにじみ出しなど)
 - ⑧ 天災その他の不可抗力
(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など)による不具合又はこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
 - ⑨ 施工当時実用化されていた技術、知識では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合
 - ⑩ 犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合
 - ⑪ 引き渡し後の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
(例えば、クレセント・錠などの部品が、使用中にがたついたり異音などが発生し、異常が生じたまま使用し続けたことが原因で発生した傷・破損などの不具合)
 - ⑫ お客様自身の組立て、取付け、修理、改造(必要部品の取外しを含む)に起因する不具合
 - ⑬ 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
 - ⑭ 犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

*保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

*本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにお問い合わせください。

2013年4月

●当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXILオフィシャルサイトまで

<http://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

●商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

